

北海道社会学会ニュース

H.S.A.NEWSLETTER

発行：北海道社会学会事務局

〒060-0906 北海道札幌市東区北6条東3丁目3-1 サッポロ63ビル6階
北海道NPOサポートセンター気付

FAX: 011-299-6941 E-mail: socio@npo-hokkaido.org 担当 畑
郵便振替口座 02760-3-3085 URL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/hsa>

HOKKAIDO SOCIOLOGICAL ASSOCIATION

c/o Hokkaido NPO Support Center,

Sapporo 63 Bldg., Kita 6 Higashi 3 3-1, Higashi-ku,

Sapporo, 060-0906 JAPAN URL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/hsa/>

編集責任者：高田洋（庶務理事） 札幌学院大学社会情報学部 htakada@sgu.ac.jp

〒069-8555 江別市文京台11丁目 TEL 011-386-8111（代表） FAX 011-386-8113（代表）

このたびの東北地方太平洋沖地震で亡くなられた方々に哀悼の意を表し、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。地域社会を復興し、一日でも早く皆様の平穏な生活が回復できるようお祈りいたします。

北海道社会学会は、社会学という研究活動を通じて、社会全体の再生に貢献できるよう、心がけてまいります。

（北海道社会学会会長 小内透）

計画停電の影響について

東北地方太平洋沖地震に伴う計画停電の影響により、本学会のホームページサーバーを提供している国立情報学研究所のサービスが断続的に停止しています。そのため本学会のホームページにアクセスできない時間帯があります。国立情報学研究所コンテンツサービス運用カレンダー (<http://www.nii.ac.jp/content/info/>) にてサービス提供時間をご確認の上、アクセスしていただきますようお願い申し上げます。

《ホームページ公開版では省略》

皆様方にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご了承の程、よろしくようお願い申し上げます。

（庶務担当高田）

【お詫びと訂正】前号ニュースの訂正について

ニューズレター85号記載の編集委員会報告の箇所に間違いがありました。お詫びして訂正いたします。1ページ左段下から10行目。

【誤】「論文4本」

【正】「投稿論文が3本あったこと」

（庶務担当高田）

第59回北海道社会学会大会について

第59回北海道社会学会大会は、2011年6月4日（土）・5日（日）に、天使大学（札幌市）で開催さ

れます。なお大会プログラムはニュース次号（5月発行予定）に掲載します。

シンポジウムについて

テーマ：「病・縁」化社会のゆくえー新たな絆>ネットワーキングにむけて」

現代社会を読み解くキーワードの一つに「病い」があげられる。これと対をなすのが「健康」である。健康ブームの背景には病いが潜んでいる。

病いは、健康食品や癒しブームにみられるように個人の身体的、精神的な側面から、高齢者の所在不明問題や学級崩壊、希望格差社会のように社会全体にも拡散している。そして、病いを契機に、人々は「病院」につなぎとめられ出産からホスピスまでそこで人生すべて管理されるようになりつつある。しかし、その一方で、病いが、コンパクト・シティに見られるように病院を地域社会再編の拠点にしたり、断酒会や病院ボランティア、在宅ホスピスなど新しい地域社会的ネットワークワーキングを促進したり、ネットを通じた「〇〇患者の会」のように地理的・物理的に孤立した個人をつなぐ新たな絆>ネットワーキングの契機にもなったりしている。

本シンポジウムでは、病いをキーワードに現代社会を読み解くことを目指す。このシンポジウムを通して新しい社会的な想像力の源となり、現代社会論の新たな地平を切り開くきっかけとなるのを期待する。

報告テーマおよび報告者：

「老人中心の地域社会の中で「縁」や「絆」をどうやって持続し創りあげていくか？」

田中恭介（社会医療法人友愛会 恵愛病院）

「セルフ・ヘルプ・グループのネットワークワーキングは当事者を超えられるか？」

竹中健（天使大学）

「医療化・個人化・病縁化」

野口裕二（東京学芸大学）

討論者：川又俊則（鈴鹿女子短期大学）

組織者：田島忠篤（天使大学）

司会：原俊彦（札幌市立大学）

（研究活動委員会委員長 原俊彦）

一般報告の申し込みと報告要旨の提出について

一般報告をご希望の方は、下記の要領に従って、(1) 報告の申し込みと (2) 報告要旨の提出をお願いいたします。またシンポジウムの報告者も、(2) 報告要旨の提出をお願いいたします。

(1) 一般報告の申し込み

- ①本学会ホームページより「報告申込書2011」（Word版）をダウンロードしてください。（東京電力の計画停電の影響によりホームページにアクセスできない場合があります。別項参照。）
- ②同用紙に必要事項を記入のうえ、事務局（担当：畑、e-mail: socio@npo-hokkaido.org）まで電子メールの添付書類でお送りください。ファイル名は「報告申込書2011○○○○.doc」（○○○○は報告代表者の氏名の漢字表記）としてください。
- ③申し込み期限は**4月15日（金）**（必着、期限厳守）とします。これまでに2010年度（10年5月請求）までの会費を完納してください。完納されていない場合は発表できません。
- ④事務局は申し込みのメールを受領後、その旨の返信メールをお送りします。数日たっても返信メールがない場合は事務局へご確認ください。

(2) 一般報告・シンポジウム報告要旨の提出

- ①以下の書式でWordによって報告要旨を作成し、大会校の田島忠篤（天使大学）会員まで添付書類でお送りください（e-mail: tajima@tenshi.ac.jp）。ファイル名は「報告要旨○○○○.doc」（○○○○は報告代表者の氏名の漢字表記）としてください。なお、タイトルや報告者は、報告申し込み時と完全に一致させてください。この段階での変更は認められません。
【書式】A4版1頁40字×40行を2頁までとします。1枚目は上7行に、報告のタイトル<14ポイント>（必要に応じて副題<12ポイント>）、所属と氏名<12ポイント>を記入して下さい。本文は<10.5ポイント>をお願いします。文字フォントは、和文は明朝体、欧文はcenturyを使用し、ページ設定における余白は、上25ミリ、下25ミリ、左25ミリ、右25ミリにしてください。なお、要旨集のフォーマットは北海道社会学会のホームページよりダウンロードできます。
- ②さらに①による原稿を印刷し、折らずに下記まで郵

送してください。原則として、郵送された原稿をそのまま印刷に用います。

送り先：

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1-30

天使大学教養教育科 田島忠篤会員あて

- ③①添付書類および②打ち出し原稿の提出期限は、いずれも**5月6日（金）**（必着、期限厳守）とします。

役員選挙の実施について

会則第11条～14条ならびに選挙規則にもとづき、4月以降に役員（会長・副会長、理事、監事）選挙が行われます。選挙の有権者は、本年4月1日現在で2010年度会費（2010年5月に初請求）を完納されている会員です。選挙に関する詳細ならびに投票用紙等は、4月に入りましたらお送りします。

2010年度第2回理事会報告

日時：2011年3月2日（水）18:00～

会場：北海道大学教育学部2階小会議室

出席者：小内会長、櫻井副会長、原・梶井・松岡・高田の各理事（欠席者：笹谷、杉岡、井上の各理事）

報告及び議題

1. 編集委員会報告（井上編集委員長の代理として松岡理事が報告）

『現代社会学研究』第24巻（2011年6月発行予定）は、投稿論文3本の査読、改稿中、書評は4本、往来4本であることが報告された。

2. 研究活動委員会報告（原研究活動委員長）

6月4日～5日に天使大学において開催される第59回大会の準備状況ならびに一般報告の申し込み締切日等に関する委員会案が報告され、その通り了承された。

3. 庶務

- 1-1. 会員異動（2011年1～3月）

持ち回り理事会においてすでに承認されている退会3名について確認した。

- 1-2 研究奨励金の応募状況について

3月4日締め切りまでに応募があり次第持ち回り理事会にて審議することを確認した（別項参照）。

- 1-3 選挙管理委員会の委嘱について

審議の結果、会則第21条・第22条ならびに選挙規則第3条にもとづき木戸功会員（札幌学院大学）に委員長を、樽本英樹会員（北海道大学）

に委員、高田洋会員（札幌学院大学）に理事委員を委嘱することが決議された。

1-4 学術機関リポジトリに係るリーフレット及び著作権ポリシーの策定・公表について

『現代社会学研究』掲載の論文について、著者による所属機関のリポジトリまたは著者自身のホームページなどに掲載するオープンアクセス化について国立大学図書館協会より依頼があった。審議の結果、この件に対応した著作権ポリシーを策定することになった。投稿規定の改訂案について、編集委員会にて審議を行ない、次回の総会において編集委員会より提案し審議事項として諮ることになった。

1-5 その他

- ・ホームページサーバーの移動先について継続協議していくことが確認された。
- ・研究奨励金の採用通知書を発行することが確認された。
- ・『現代社会学研究』21巻以降の電子化について継続協議することが確認された。

4. その他

- ・理事の数、任期、再選などのあり方について継続審議することが確認された。
- ・会員の増加、若手研究者を活性化する方法について継続審議することが確認された。
- ・次回理事会は2011年6月4日（大会当日）に開催することとなった。

北海道社会学会研究奨励金について

3月4日に締め切られた。1件の応募があり、濱田国祐会員の「『国際化』による脅威認知のあり方と社会的文脈との関連の解明」に奨励金を交付することに決定した旨、学会研究奨励金選考委員会から報告があり、持ち回りの理事会により了承された。

会員異動（2011年2月～2011年3月）

《ホームページ公開版では省略》

会員情報の更新について

住所や所属が変更になったときは、遅滞なく郵便かメールで事務局（担当：畑 socio@npo-hokkaido.org）までお知らせください。その際、e-mail アドレスもお忘れなくご登録ください。

会費の納入について

2010年度会費または未納分会費について、同封の郵便振替用紙〔郵便振替口座 02760-3-3085〕にてすみやかに振り込み手続きをお願いします。年会費は一般会員 6,000 円、学生・院生会員 4,000 円です。2010年度会費を納入されていない方には、機関誌第 24 巻（本年 6 月発行）をお渡ししていません。5 年間滞納されると、自然退会の扱いとさせていただきます。